

2018年の豪雨から、「しそう自立の家」の移転計画をすすめ、昨年3月に着工、ウッドショックにより木材が高騰し多額の追加費用が必要になりましたが、本年3月末に無事建物が完成しました。4月20日に引っ越しが完了し、新しい生活がスタートしています。

入居者の方々が新しい環境に慣れるまで相当な混乱があるのではないかと心配していましたが、大きなトラブルもなく移転出来ました。

建設地	兵庫県宍粟市山崎町与位 696-7
構造	木造一部鉄筋コンクリート造・鉄骨造 2階建て
敷地面積	4,593.64 平方メートル
延べ床面積	2,503.55 平方メートル
設計監理	株式会社 アール・アイ・イー
施工	前川建設株式会社
総事業費	1,099,218,112 円



国産材を活用した大型木造建築です

木を使うことは、森林を守ることです。持続可能な地球のために、木造建築は森里海の循環をつくります。



快適な居住空間として

風がとおり明るい陽射しがたっぷりと受けられます。居室の片面は七色のペールカラーの壁紙です。広い廊下は、マレーシアのロングハウスのような共有スペースになります。



だれもが暮らしやすい場所、働きやすい場所として

性別を問わない更衣スペースを設けました。だれでも使える多機能トイレがあります。ジェンダーの平等に配慮した取り組みです。

最新のミストシャワー浴装置があります。各所に天井走行リフトを整備しました。

ICT AI 導入を予測した設計です。



やさしいあかりが灯ります

間接照明や目に優しい光色を取り入れました。あたたかな光は、木造建築によく似合います。



← 生活がはじまりました。

共生社会の拠点として

木トラスを採用した無柱の大きなホールは、地域に向けてコンサートや講演会も開催します。地域の方々といっしょに作業をするスペースやカフェコーナーを設けます。

万一の災害時には、近隣の人々も避難できるスペースを RC 構造 2 階に設けました。機械類も 2 階に設置し、災害リスクを軽減します。

50 人の暮らしの場だけでなく、共生社会の拠点としての役割を持ちます。